



Easy VPN および IPsec トンネルを使用した VPN の設定

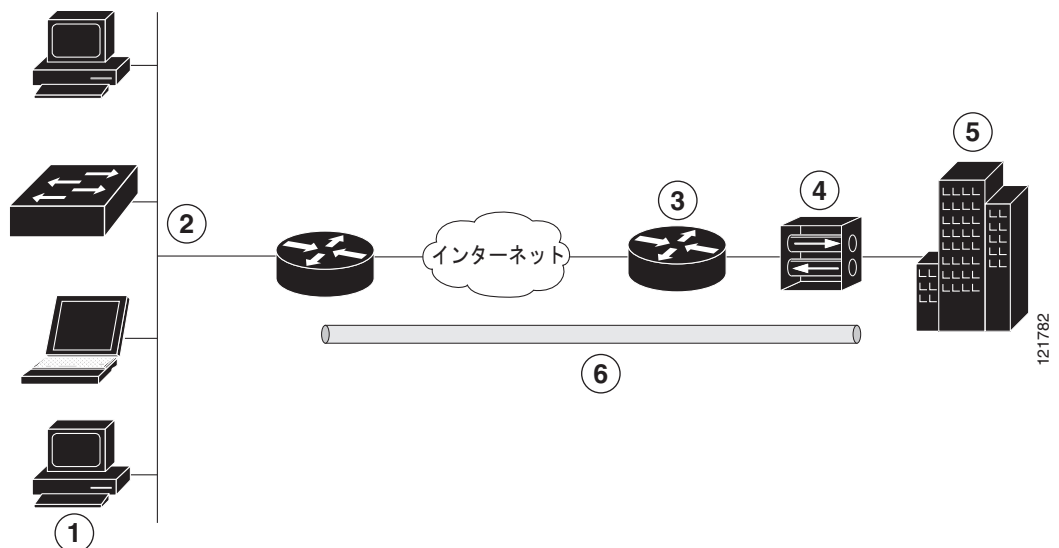
Cisco 1800 シリーズ サービス統合型固定構成ルータは Virtual Private Network (VPN; バーチャルプライベートネットワーク) の作成をサポートします。

Cisco ルータと他のブロードバンド デバイスは、インターネットへの高パフォーマンスな接続を提供しますが、多くのアプリケーションでは、高レベルの認証を実行し、2 つの特定のエンドポイント間でデータを暗号化する VPN 接続のセキュリティも必要です。

サイト間とリモート アクセスの 2 種類の VPN がサポートされます。サイト間 VPN は、ブランチ オフィスとコーポレート オフィスを接続する場合などに使用します。リモート アクセス VPN は、企業ネットワークにログインする際にリモート クライアントによって使用されます。

この章の例は、Cisco Easy VPN と IPsec トンネルを使用してリモート クライアントと企業ネットワーク間の接続を設定し、セキュアにするリモート アクセス VPN の構成を示しています。図 6-1 は、一般的な構成例を示します。

図 6-1 IPsec トンネルを使用したリモート アクセス VPN



1	リモート、ネットワークで接続されたユーザ
2	VPN クライアント : Cisco 1800 シリーズ サービス統合型ルータ
3	ルータ : 本社オフィスへのネットワーク アクセスを提供

4	VPN サーバ: Easy VPN サーバ (外部インターフェイス アドレスが 192.168.101.1 の Cisco VPN 3000 コンセントレータなど)
5	ネットワーク アドレスが 10.1.1.1 のコーポレート オフィス
6	IPSec トンネル

Cisco Easy VPN

Cisco Easy VPN クライアント機能を使用し、Cisco Unity Client プロトコルを実装することにより、面倒な設定作業が大幅に削減されます。このプロトコルでは、ほとんどの VPN パラメータ (内部 IP アドレス、内部サブネット マスク、DHCP サーバ アドレス、WINS サーバ アドレス、スプリットトンネリング フラグなど) を、VPN サーバ (IPSec サーバとして機能している Cisco VPN 3000 シリーズ コンセントレータなど) で定義することができます。

Easy VPN サーバ対応のデバイスでは、PC 上で Cisco Easy VPN リモート ソフトウェアを実行しているモバイルおよびリモート作業者が開始した VPN トンネルを終了できます。Easy VPN サーバ対応のデバイスでは、リモート ルータを Easy VPN リモート ノードとして動作させることができます。

Cisco Easy VPN クライアント機能は、クライアント モードとネットワーク拡張モードの 2 つのモードのいずれかに設定できます。デフォルト設定はクライアント モードで、クライアント サイトの装置だけが中央サイトのリソースにアクセスできます。クライアント サイトのリソースは、中央サイトでは利用できません。ネットワーク拡張モードを使用すると、(VPN 3000 シリーズ コンセントレータが配置された) 中央サイトのユーザがクライアント サイトのネットワーク リソースにアクセスできます。

IPSec サーバが設定されている場合は、サポート対象の Cisco 1800 サービス統合型ルータなどの IPSec クライアント上で最小限の設定を行うことにより、VPN 接続を作成できます。IPSec クライアントが VPN トンネル接続を開始すると、IPSec サーバは IPSec ポリシーを IPSec クライアントに転送し、対応する VPN トンネル接続を作成します。



(注)

Cisco Easy VPN クライアント機能で設定できるのは、1 つの宛先ピアだけです。アプリケーションで複数の VPN トンネルを作成する必要がある場合、手動でクライアントおよびサーバ側の両方に IPSec VPN および Network Address Translation/Peer Address Translation (NAT/PAT; ネットワーク アドレス変換/ピア アドレス変換) パラメータを設定する必要があります。

設定作業

このネットワーク シナリオのルータを設定するには、次の作業を実行します。

- 「IKE ポリシーの設定」
- 「グループ ポリシー情報の設定」
- 「暗号マップへのモード設定の適用」
- 「ポリシー ルックアップのイネーブル化」
- 「IPSec トランスフォームおよびプロトコルの設定」
- 「IPSec 暗号方式およびパラメータの設定」
- 「物理インターフェイスへの暗号マップの適用」
- 「Easy VPN リモート コンフィギュレーションの作成」

これらの設定作業の結果を示す例は、「設定例」の項に示されています。



(注)

この章の手順では、基本的なルータ機能と、NAT、DCHP、および VLAN を使用した PPPoE または PPPoA がすでに設定されていることを前提とします。これらの設定作業を実行していない場合は、使用しているルータに応じて第 1 章「ルータの基本設定」、第 3 章「PPP over Ethernet と NAT の設定」、第 4 章「PPP over ATM と NAT の設定」および第 5 章「DHCP および VLAN による LAN の設定」を参照してください。

IKE ポリシーの設定

Internet Key Exchange (IKE; インターネット キー エクスチェンジ) を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	crypto isakmp policy priority 例: Router(config)# crypto isakmp policy 1 Router(config-isakmp)#	IKE ネゴシエーション時に使用される IKE ポリシーを作成します。プライオリティ番号の範囲は 1 ~ 10000 で、プライオリティが最も高いのは 1 です。 また、Internet Security Association Key and Management Protocol (ISAKMP; インターネットセキュリティアソシエーションキーおよび管理) ポリシー コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	encryption {des 3des aes aes 192 aes 256} 例: Router(config-isakmp)# encryption 3des Router(config-isakmp)#	IKE ポリシーに使用される暗号化アルゴリズムを指定します。 この例では、168 ビット Data Encryption Standard (DES; データ暗号化規格) を指定します。
ステップ 3	hash {md5 sha} 例: Router(config-isakmp)# hash md5 Router(config-isakmp)#	IKE ポリシーに使用されるハッシュアルゴリズムを指定します。 この例では、Message Digest 5 (MD5) アルゴリズムを指定します。デフォルトは、Secure Hash 標準 (SHA-1) です。
ステップ 4	authentication {rsa-sig rsa-encr pre-share} 例: Router(config-isakmp)# authentication pre-share Router(config-isakmp)#	IKE ポリシーに使用される認証方式を指定します。 この例では、事前共有キーを指定します。
ステップ 5	group {1 2 5} 例: Router(config-isakmp)# group 2 Router(config-isakmp)#	IKE ポリシーに使用される Diffie-Hellman グループを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	lifetime seconds 例： Router(config-isakmp) # lifetime 480 Router(config-isakmp) #	IKE Security Association (SA; セキュリティアソシエーション) のライフタイム (60 ~ 86400 秒) を指定します。
ステップ 7	exit 例： Router(config-isakmp) # exit Router(config) #	IKE ポリシーのコンフィギュレーションモードを終了し、グローバル コンフィギュレーションモードに切り替えます。

グループ ポリシー情報の設定

グループ ポリシーを設定するには、グローバル コンフィギュレーションモードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	crypto isakmp client configuration group {group-name default} 例： Router(config) # crypto isakmp client configuration group rtr-remote Router(config-isakmp-group) #	リモート クライアントにダウンロードされるアトリビュートを含む IKE ポリシー グループを作成します。 また、ISAKMP グループ ポリシー コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	key name 例： Router(config-isakmp-group) # key secret-password Router(config-isakmp-group) #	グループ ポリシーの IKE 事前共有キーを指定します。
ステップ 3	dns primary-server 例： Router(config-isakmp-group) # dns 10.50.10.1 Router(config-isakmp-group) #	グループのプライマリ Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) サーバを指定します。 (注) wins コマンドを使用して、グループに WINS サーバを指定することもできます。
ステップ 4	domain name 例： Router(config-isakmp-group) # domain company.com Router(config-isakmp-group) #	グループのドメイン メンバーシップを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	exit 例： Router(config-isakmp-group)# exit Router(config)#	IKE グループ ポリシーのコンフィギュレーション モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードに切り替えます。
ステップ 6	ip local pool {default poolname} [low-ip-address [high-ip-address]] 例： Router(config)# ip local pool dynpool 30.30.30.20 30.30.30.30 Router(config)#	グループのローカル アドレス プールを指定します。 このコマンドの詳細な説明およびその他の設定可能なパラメータについては、『 Cisco IOS Dial Technologies Command Reference 』を参照してください。

暗号マップへのモード設定の適用

暗号マップにモード設定を適用するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	crypto map map-name isakmp authorization list list-name 例： Router(config)# crypto map dynmap isakmp authorization list rtr-remote Router(config)#	暗号マップにモード設定を適用し、Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) サーバからのグループ ポリシーのキールックアップ (IKE クエリ) をイネーブルにします。
ステップ 2	crypto map tag client configuration address [initiate respond] 例： Router(config)# crypto map dynmap client configuration address respond Router(config)#	リモートクライアントからのモード設定要求にルータが応答するように設定します。

ポリシー ルックアップのイネーブル化

AAA を使用してポリシー ルックアップをイネーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	aaa new-model 例： Router(config)# aaa new-model Router(config)#	AAA アクセス コントロール モデルをイネーブルにします。
ステップ 2	aaa authentication login {default list-name} method1 [method2...] 例： Router(config)# aaa authentication login rtr-remote local Router(config)#	選択したユーザのログイン時の AAA 認証を指定し、使用する方式を指定します。 この例では、ローカル認証データベースを使用します。RADIUS サーバを使用することもできます。詳細については、『 Cisco IOS Security Configuration Guide 』および『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。
ステップ 3	aaa authorization {network exec commands level reverse-access configuration} {default list-name} [method1 [method2...]] 例： Router(config)# aaa authorization network rtr-remote local Router(config)#	PPP を含むすべてのネットワーク関連サービス要求の AAA 許可を指定してから、さらに許可方式を指定します。 この例では、ローカル許可データベースを使用します。RADIUS サーバを使用することもできます。詳細については、『 Cisco IOS Security Configuration Guide 』および『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。
ステップ 4	username name {nopassword password password password encryption-type encrypted-password} 例： Router(config)# username Cisco password 0 Cisco Router(config)#	ユーザ名をベースとした認証システムを構築します。 この例では、ユーザ名 <i>Cisco</i> と暗号化パスワード <i>Cisco</i> を指定しています。

IPSec トランスフォームおよびプロトコルの設定

トランスフォーム セットは、特定のセキュリティ プロトコルとアルゴリズムを組み合わせたものです。IKE のネゴシエーション中に、ピアは特定のトランスフォーム セットを使用してデータ フローを保護することに合意します。

IKE ネゴシエーションの実行時に、両ピアは、複数のトランスフォーム セットから両ピアに共通するトランスフォームを検索します。このようなトランスフォーム セットが検出された場合、そのトランスフォーム セットが選択され、両方のピアの設定の一部として、保護するトラフィックに適用されます。

IPSec トランスフォーム セットとプロトコルを指定するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<pre>crypto ipsec transform-set transform-set-name transform1 [transform2] [transform3] [transform4]</pre> <p>例：</p> <pre>Router(config)# crypto ipsec transform-set vpn1 esp-3des esp-sha-hmac Router(config)#</pre>	<p>トランスフォーム セット (IPSec セキュリティ プロトコルとアルゴリズムの有効な組み合わせ) を定義します。</p> <p>有効なトランスフォームおよび組み合わせの詳細については、『Cisco IOS Security Command Reference』を参照してください。</p>
ステップ 2	<pre>crypto ipsec security-association lifetime {seconds seconds kilobytes kilobytes}</pre> <p>例：</p> <pre>Router(config)# crypto ipsec security-association lifetime seconds 86400 Router(config)#</pre>	<p>IPSec SA ネゴシエーション時のグローバル ライフタイム値を指定します。</p> <p>詳細については、『Cisco IOS Security Command Reference』を参照してください。</p>



(注)

手動で確立したセキュリティ アソシエーションの場合は、ピアとのネゴシエーションが存在しないため、両方に同じトランスフォーム セットを指定する必要があります。

IPSec 暗号方式およびパラメータの設定

ダイナミック暗号マップ ポリシーでは、ルータがすべての暗号マップ パラメータ (IP アドレスなど) を認識していない場合でも、リモート IPSec ピアからの新規の SA のネゴシエーション要求を処理します。

IPSec 暗号方式を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	crypto dynamic-map <i>dynamic-map-name</i> <i>dynamic-seq-num</i> 例： Router(config)# crypto dynamic-map dynmap 1 Router(config-crypto-map)#	ダイナミック暗号マップ エントリを作成します。続いて、暗号マップ コンフィギュレーション モードを開始します。 このコマンドの詳細については、『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。
ステップ 2	set transform-set <i>transform-set-name</i> [<i>transform-set-name2...transform-set-name6</i>] 例： Router(config-crypto-map)# set transform-set vpn1 Router(config-crypto-map)#	暗号マップ エントリで使用できるトランスフォーム セットを指定します。
ステップ 3	reverse-route 例： Router(config-crypto-map)# reverse-route Router(config-crypto-map)#	暗号マップ エントリの送信元プロキシ情報を作成します。 詳細については、『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。
ステップ 4	exit 例： Router(config-crypto-map)# exit Router(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 5	crypto map <i>map-name seq-num</i> [ipsec-isakmp] [dynamic <i>dynamic-map-name</i>] [discover] [profile <i>profile-name</i>] 例： Router(config)# crypto map static-map 1 ipsec-isakmp dynamic dynmap Router(config)#	暗号マップ プロファイルを作成します。

物理インターフェイスへの暗号マップの適用

暗号マップは、IP Security (IPSec; IP セキュリティ) トラフィックが通過する各インターフェイスに適用されている必要があります。物理インターフェイスに暗号マップを適用することにより、ルータがすべてのトラフィックを SA データベースに照合するようになります。デフォルト設定では、ルータ

は、リモート サイト間に送信されるトラフィックを暗号化して、安全な接続を提供します。ただし、パブリック インターフェイスでは他のトラフィックの通過を許可し、インターネットへの接続を提供しています。

インターフェイスに暗号マップを適用するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	interface type number 例 : Router(config)# interface fastethernet 0 Router(config-if)#	暗号マップを適用するインターフェイスのインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	crypto map map-name 例 : Router(config-if)# crypto map static-map Router(config-if)#	暗号マップをインターフェイスに適用します。 このコマンドの詳細については、『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。
ステップ 3	exit 例 : Router(config-crypto-map)# exit Router(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。

Easy VPN リモート コンフィギュレーションの作成

IPSec リモート ルータとして機能するルータは、Easy VPN リモート コンフィギュレーションを作成し、発信インターフェイスに割り当てる必要があります。

リモート コンフィギュレーションを作成するには、グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、次の手順を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	crypto ipsec client ezvpn name 例 : Router(config)# crypto ipsec client ezvpn ezvpnclient Router(config-crypto-ezvpn)#	Cisco Easy VPN リモート コンフィギュレーションを作成します。続いて、Cisco Easy VPN リモート コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	group group-name key group-key 例 : Router(config-crypto-ezvpn)# group ezvpnclient key secret-password Router(config-crypto-ezvpn)#	VPN 接続の IPSec グループおよび IPSec キー値を指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<pre>peer {ipaddress hostname}</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-crypto-ezvpn) # peer 192.168.100.1 Router(config-crypto-ezvpn) #</pre>	<p>VPN 接続のピア IP アドレスまたはホスト名を指定します。</p> <p>(注) ホスト名を指定できるのは、ルータから DNS サーバを介してホスト名解決を行える場合だけです。</p>
ステップ 4	<pre>mode {client network-extension network extension plus}</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-crypto-ezvpn) # mode client Router(config-crypto-ezvpn) #</pre>	<p>VPN 動作モードを指定します。</p>
ステップ 5	<pre>exit</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-crypto-ezvpn) # exit Router(config) #</pre>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。</p>
ステップ 6	<pre>interface type number</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config) # interface fastethernet 0 Router(config-if) #</pre>	<p>インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <p>(注) ATM WAN インターフェイスを使用しているルータの場合、このコマンドは interface atm 0 になります。</p>
ステップ 7	<pre>crypto ipsec client ezvpn name [outside inside]</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-if) # crypto ipsec client ezvpn ezvpnclient outside Router(config-if) #</pre>	<p>Cisco Easy VPN リモート コンフィギュレーションを WAN インターフェイスに割り当てます。これにより、ルータは VPN 接続に必要な NAT または PAT、およびアクセス リストの設定を自動的に作成します。</p>
ステップ 8	<pre>exit</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-crypto-ezvpn) # exit Router(config) #</pre>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。</p>

Easy VPN の設定の検証

```
Router# show crypto ipsec client ezvpn
Tunnel name :ezvpnclient
Inside interface list:vlan 1
Outside interface:fastethernet 0
Current State:IPSEC_ACTIVE
Last Event:SOCKET_UP
Address:8.0.0.5
```

```
Mask:255.255.255.255
Default Domain:cisco.com
```

設定例

次の設定例は、この章で説明した VPN および IPSec トンネルのコンフィギュレーション ファイルの一部を示します。

```
!
aaa new-model
!
aaa authentication login rtr-remote local
aaa authorization network rtr-remote local
aaa session-id common
!
username Cisco password 0 Cisco
!
crypto isakmp policy 1
  encryption 3des
  authentication pre-share
  group 2
  lifetime 480
!
crypto isakmp client configuration group rtr-remote
  key secret-password
  dns 10.50.10.1 10.60.10.1
  domain company.com
  pool dynpool
!
crypto ipsec transform-set vpn1 esp-3des esp-sha-hmac
!
crypto ipsec security-association lifetime seconds 86400
!
crypto dynamic-map dynmap 1
  set transform-set vpn1
  reverse-route
!
crypto map static-map 1 ipsec-isakmp dynamic dynmap
crypto map dynmap isakmp authorization list rtr-remote
crypto map dynmap client configuration address respond

crypto ipsec client ezvpn ezvpnclient
  connect auto
  group 2 key secret-password
  mode client
  peer 192.168.100.1
!

interface fastethernet 0
  crypto ipsec client ezvpn ezvpnclient outside
  crypto map static-map
!
interface vlan 1
  crypto ipsec client ezvpn ezvpnclient inside
!
```

